

所属班	東部	エリア班		
段階	今のあなたの立場でやるべきことは、何だとおもいますか？		左の欄に書いた「やるべきこと」を実現するうえで、課題となっていることは何ですか？	
	誰の	意見	誰の	意見
災害が起きる前に… (普段の対策)	消防団員 木藤 清	要援護者の現状把握 避難場所（その場所の海拔も含めて）の確認 独居高齢者の居住場所の確認 避難場所へのルート確認	消防団員 木藤 清	個人情報保護の問題 市役所の早い対応 地域の人々に素直に聞く心
	自治会役員 石水 公文	市民の防災意識・知識の向上 自主防災組織の結成促進 地域の安全点検・備蓄・訓練	自治会役員 石水 公文	地区住民の防災意識が低い 訓練への参加者が少ない
	幼稚園の先生 柳川 五郎	第1次～第3次各避難場所への移動訓練 近隣施設との共同避難訓練 保護者との確認 防災頭巾の作成と被る練習を常態化 窓ガラスの飛散防止 蛍光灯の落下防止 教室・廊下の落下防止 設備・ロッカーの固定 遊具の固定	幼稚園の先生 柳川 五郎	怖がらず指示に従う訓練の仕方 避難の訓練をどのように習慣化するか 震度に応じた保護者の対応の仕方 園児の引き渡しについての確認 全保護者に防災頭巾の作成依頼 窓ガラスに飛散防止フィルムを貼る アクリルガラスに取り替える予算 落下防止策の予算 遊具固定化の業者委託
	PTA関係者 伊藤 和哉	児童・生徒たちを安全に保護する方法 保護者へ安全に送り届ける避難計画の策定	PTA関係者 伊藤 和哉	事前避難計画の周知徹底
	保育園の先生 近藤 洋子	月1回の避難訓練 NTT災害伝言ダイヤルの模擬テスト（毎月） 担当園児の安全確認（保育士） 持分を行う（その他職員） 指示者の指示に従う（その他職員） 救急セットを持つ（看護師） 健康観察を怠らない（看護師） 各担当の動きを把握し、指示を出す（主任） 非常食等を持つ（主任） 緊急連絡先名簿・携帯電話を持つ（園長） 全体の安全を見守る（園長） 時間の確認（園長）	保育園の先生 近藤 洋子	訓練の慣れによる気の緩み 地域との連携が取りにくい 小学校との合同訓練をするところには及ばない
	民生児童委員 白石 篤	要援護者名簿及びマップ作成に協力	民生児童委員 白石 篤	調査する主体責任者等が明確ではない 単独では難しい 地域支援者を見つけるのが困難 複数災害を想定した各部署の行動指針が必要のため時間がかかる 対策費用がかかる 備蓄食料費がかかる 訓練を生かすことができるのか
	病院担当者 高橋 明	防災マニュアルの作成 防災訓練の実施 防災対策 備蓄食料の確保	病院担当者 高橋 明	他の日常業務により十分な検討と研究ができていない ノウハウがなく、具体的な業務に取り組むことができない
	市職員 近藤 孝弘	避難所運営マニュアルの整備 避難所運営ノウハウの蓄積	市職員 近藤 孝弘	
	市職員 岩崎 勇介	災害対応に即応できる部隊づくり 広域災害発生時（被災時）の受援側の動きを学習		
	災害が起きたときに… (発災時)	消防団員 木藤 清	避難誘導 自分の身は自分で守る 要援護者の救助	消防団員 木藤 清
自治会役員 石水 公文		助けられる側でなく助ける側になる 情報の収集・伝達 出火防止 要援護者の安否確認 避難経路の確認	自治会役員 石水 公文	古い家屋・狭い道が多い 独居高齢者が多い
幼稚園の先生 柳川 五郎		全園児に身を守らせる 全園児を園庭にスムーズに出す	幼稚園の先生 柳川 五郎	とっさに防災頭巾を手にするにはどうするか 雨天時・荒天時はどうするか
PTA関係者 伊藤 和哉		避難計画通りに行動	PTA関係者 伊藤 和哉	冷静に行動できるか 帰宅か学校に残る判断
保育園の先生 近藤 洋子		避難場所と方法指示（園長） 緊急名簿・携帯電話を持つ（園長） 全員の避難を見届ける（園長） 非常食等を持つ（主任） 安全な避難を指示（主任） 率先して避難にあたる（主任） 救急セットを持つ（看護師） 乳児の避難支援（看護師） 担当園児の避難（保育士） 持分の所を済ませる（その他職員） 園児の避難を手伝う（その他職員）	保育園の先生 近藤 洋子	園児数の多さ 行政や地域の方々の協力が必要 新災害時情報伝達手段が一刻も早く欲しい 公的機関に年齢別入所園児数を把握してほしい 行政に援助の必要有無の実態把握をしてほしい
民生児童委員 白石 篤		家族や地域住民の安否確認 対象者の安否確認	民生児童委員 白石 篤	対象者の避難先が不明確 担当者死亡時のフォロー体制 課員が負傷した場合の代役
病院担当者 高橋 明		病院ライフラインなど設備の被害状況確認 対策本部へ報告	病院担当者 高橋 明	
市職員 近藤 孝弘		避難所の開設 民生児童委員との連絡、調整	市職員 近藤 孝弘	ノウハウがない 連絡体制の未確立
市職員 岩崎 勇介		西条市災害対策本部事務分掌に基づき参集 捜索及び救助活動		
災害が起きた後に… (発災後)		消防団員 木藤 清	避難場所の準備 生存者の確認 負傷者救助の手助け	
	自治会役員 石水 公文	避難所への誘導 避難所の設置・管理運営 安否確認 初期消火、救出、救護 備蓄物の配給	自治会役員 石水 公文	訓練への参加者が少ない
	幼稚園の先生 柳川 五郎	二次避難場所の避難可否の確認 二次避難場所へ園児を引率 三次避難場所への引率 園児に持たせる物の選別 教職員が持参するものの選別 保護者への引き渡し	幼稚園の先生 柳川 五郎	二次避難場所への問い合わせ方法（電話使用不可の場合） 園の持ち出す物の選別と集中管理・保管の役割分担 保護者への迅速な連絡をどうするか 連絡手段不可能な場合の共通理解の徹底 迎えが遅れる園児の対応
	PTA関係者 伊藤 和哉	避難所(学校)への移動	PTA関係者 伊藤 和哉	どのタイミングで避難所に戻るか 避難所に行くか自宅にいるかの判断 避難所トリアージについて取り組む必要性 協力体制の確立を望む 行政等に連絡がとれることを願う
	保育園の先生 近藤 洋子	再度全員の確認（園長） 災害用伝言ダイヤルの活用 （避難場所・園児の様子・救援要請） 情報収集（園長） 園児の無事を確認（主任） 園児の不安を感じさせないように指示（主任） 園児の不安を最小限にとどめる（保育士） 食の提供に努める（給食担当者） 健康状態をきめ細やかに確認（看護師）	保育園の先生 近藤 洋子	
	民生児童委員 白石 篤	神拝社協支部【福祉推進員構成団体】の立ち上げ 地区の情報収集 現場の後片付け 支援物資の選り分け 避難所での要援護者の心のケア	民生児童委員 白石 篤	支援対象者の避難先が不明 連絡方法が分かっていない 作業部会に婦人会や老人会の指導者が参加していないのが残念 女性や老人の力が不可欠 情報の伝達方法が分かっていない 他の防災組織の連携方法が分かっていない 病院単独での復旧は難しい
	病院担当者 高橋 明	病院機能復帰	病院担当者 高橋 明	
	市職員 近藤 孝弘	避難所の運営 被災者支援（災害給付金の支給など）	市職員 近藤 孝弘	ノウハウがない マンパワー不足
	市職員 岩崎 勇介	捜索及び救助活動の継続 受援を視野に入れた活動に切り替える		